

十三回忌法要 表白

敬うやまつて

大慈大悲の阿弥陀如来の尊前に

白もうして言もうさく

本日ほんじつここに

有縁うえんの人ひとびととともに

恭うやうやしく尊前そんぜんを荘嚴しようごんし

懇ねんごろに聖教しようぎょうを読誦どくじゆして

法名ほうみやう 釈しやく の

十三回忌法要を勤修ごんしゆし奉たてまつる

つらつら惟おもんみるに

我等われら この世よに生しやうを享うけしより このかた

蒼惶そうこうとして 衆務しゆむを営いとなみ

年命ねんみやうの日夜にちやに去さることを覺おぼえず

煩惱ぼんのうは深ふかくして底そこなく

罪業ざいごうのみ うたた重おもくして

出離しゆつり その期ごあることなし

然しかりといえども

阿弥陀如来は

苦悩の有情を救わんと誓ひ給い

大悲の誓願 すでに成就し給えり

本願力に遇いぬれば 空しく過ぐる人なく

弘誓の船に乗ずれば

等しく 生死の苦海を渡し給う

「和讃」に言く

本願力にあひぬれば

むなしくすぐるひとぞなき

功德の宝海みちみちて

煩惱の濁水へだてなしと

希わくは

我等 先人の化導によって

いよいよ 聴聞に勤み

本願の大悲を仰ぎて念仏を申し

もろともに

往生浄土の大道を歩まんことを

敬つて言す